

石油連盟 2006年 10大ニュース

1. 環境先進産業としてバイオマス燃料への積極的な対応開始

- ①バイオマス燃料供給有限責任事業組合(LLP)の設立決定
- ②5～6月、欧州・米国に調査団を派遣
- ③バイオガソリン(ETBE混合)を、2007年4月より関東圏50SSで試験販売開始

2. エネルギー高度化利用促進法制定の機運高まる

石油政策小委員会、経団連、自民党の各報告書において、化石エネルギー有効利用の必要性への理解深まる

3. 原油価格、過去最高値更新

7月、WTI原油 77ドル突破

4. 道路特定財源の一般財源化反対運動盛り上がる

総勢1,033万人の納税者の反対署名集まり、決戦は来年度に

5. 新国家エネルギー戦略策定

自主開発原油比率40%、1次エネルギー石油依存度40%、輸送用依存度80%

6. 大容量泡放水砲の防災要員固まる

石油コンビナート等に配備される大容量泡放水砲に必要な防災要員数が固まる

7. ディーゼルシフト本格化

総合エネ調総合部会で取りまとめた「エネルギー基本計画」(案)で、運輸部門における省エネ対策の一つとして明確に表記、また2015年度の新燃費基準(案)まとまる

8. 不正軽油に係る罰則の更なる強化(供給者罰則の創設)

不正軽油の製造に使われることを知って灯油やA重油等の物品、施設等を提供した者に対する罰則の創設

9. エコフィール発売

最新型高効率石油給湯機「エコフィール」、
石油セントラル暖房給湯システム「ホット住まいる」の普及推進

10. 石油連盟ロゴマーク決定

石連50周年記念事業の一環としてロゴマークを公募・決定

